



## 大分学習療法だより 第16号



2016年7月9日(土)日田市のセンテナリアン(老健)で、第16回大分学習療法研究会が開催されました。当日は施設見学、研究会に加えて、センテナリアン主催による伊藤副代表の講演会も企画され、会の設立以来はじめて50名を超える参加者となりました。

### <プログラム>

#### ◆第16回定例研究会

##### 第1部:施設見学

日田市内で介護老人保健施設を運営するセンテナリアンさんの見学

##### 第2部:研究会

①事例発表(実践研究シンポジウムin 大阪に向けて)

②グループ討議

#### ◆懇親会



#### ◆第1部 施設見学

会員施設での研究会は、まず施設を知るための見学からスタートしました。



デイサービスを見学する参加者

午後1時から受付開始。見学スタートとなる1時半には参加予定全員がそろいました。

約50名もの参加となり2班に分かれての見学は、学習室での学習の様子や併設のデイサービス、老健の設備などを見学。



学習室の見学では皆さんが笑顔に

1階入り口そばにあるデイサービスでは、利用者さんが笑顔で迎えてくれました。皆さん活き活きとしていて、テーブルで職員さんとカード遊びなどをして楽しく過ごされていました。

3階にある学習療法専用の教室では、1対2での学習が実施されていました。スタッフは、マスターの毛利さん。見学者の到来に緊張ぎみの学習者をリラックスさせようと笑顔で対応していました。ホットして笑顔になったお二人の姿に、さらに笑顔になる見学者の皆さんでした。

#### ◆第2部 研究会

会の冒頭、会場となったセンテナリアンの荒川施設長さんからご挨拶をいただきました。



研究会の前にあいさつする荒川施設長

施設の概要を述べられたあと、学習療法のすごさを感じて早くから導入したこと、学習効果を短期集中リハビリにも応用することはもちろん、リハビリを卒業した利用者さんにも継続して効果が出ていることなどが述べられました。

## 2. 事例発表

### ①あきらめないで！認知症！！～ひろがれ笑顔の輪～

センテナリアン(老健 日田市)



94歳 女性 要介護度4。7年前に脳梗塞後遺症で入所。その直後から昼夜逆転の生活で「きつい、もう死にたい」などネガティブな発言が多かった。娘さんも「もう母はこのまま死んでしまう。我が家に連れて帰ろう」と言い始めたので、試しに学習療法をやることになった。すぐに「これはいい！頭が良くなっていくようや」と意欲的になり笑顔が増え、レクリエーションではムードメーカー的存在になった。また、この事例をきっかけに、利用者さんの夢を叶えてあげようと職員にもよい変化が現れた。

### ②たのしい脳の健康教室～この輪が広がりますように～

ケアマンションひだか(有老 日田市)

昨年7月から11月まで、脳の健康教室としてSIB調査事業に24名もの受講者で参加。翌年の春から再度教室参加者を募集したが、有料となったことや一度受けたからなどの理由で参加者は半数以下となった。一方、教室が遠いので近くでやって欲しいとの要望があり、公文の承認をいただいてサテライト教室を開始した。少数だがどの教室も一人ひとりの個性が溢れて、楽しめる時間になった。さらに広げるためにどうすべきか提言してみた。



### ③BPSD改善に学習療法を活用し排泄の自立支援へ

和光園(老健 宇佐市)



87歳 女性。平成27年に腰椎圧迫骨折の入院をきっかけに認知症状(オムツ外し、弄便、意欲低下)と腰痛による筋の緊張が顕著となる。当施設に入所後学習療法でBPSD改善から排泄の自発性と身体機能の改善で排泄の自立ができた。

### ④研究会活動はソーシャルワーク！

大分学習療法研究会(地域ネットワーク)

会の設立から4年目を迎えたが、会員数は停滞している。再度設立目的を振り返ると、それは「地域福祉」を目指すものであった。このことから、研究会活動はソーシャルワークであることに気づく。ならば、研究会活動をソーシャルワークの定義に照らし合わせながら、今後の研究会のあるべき姿や果たすべき役割を探ってみた。



### ⑤きっかけはSIB～新たな取り組み～

四季の郷「輝」デイサービスセンター(DS 臼杵市)



昨年5月に開所した、機能訓練特化型デイサービスでは3-5提供中の選択メニューとして学習療法を導入し職員全員での取組みを開始した。さらに、SIB調査事業の取組みに参画できたので、これを機会に学習療法の進め方の見直しを行った。特にこれまで取組むことができなかった自宅学習の取組みでは、専用の日報を作成することで、ご家族との情報交換ができるようになった。また目標シートの活用や月次検討会の開催など、学習療法への取組み方の再確認ができた。

## ⑥学習療法による「気づき」の展開

いずみの園(特養 中津市)

学習療法から得られたコミュニケーションから、ご利用者さんの思いを職員で共有することでケアの質を高めることができた。読みの教材(地域や職業)のコミュニケーションから「亡くなった主人とよく旅をした」「よく行った寿司屋でちらし寿司を食べたい」などの発言が繰り返され、その思いをスタッフが現場の職員へ伝えたところ、介護職員から「現実のものにしよう!」と行事を起案。「思い出の寿司ツアー」と名付けられた企画は学習者に活力を与え、現在も励まし合いながら学習療法を続けている。



思い出の寿司ツアーの一コマ

## ◎事例発表の総評 学習療法センター 伊藤副代表

### ①あきらめないで!認知症!(センテナリアン)

学習療法を長く続けることは難しいことです。しかしセンテナリアンさんは8年続いている。それは、学習者が楽しくできていることと、そういった支援をされてきたからの結果だと思えます。事例発表対象の学習者の方と娘さんがちょうどいらっしやってました。ご本人が、ご自分の事例発表を聞くのを見たのは、私も初めてです。

### ②楽しい脳の健康教室(ケアマンションひだか)

ひだかさんの事例について、SIB調査事業の当初に24名も学習者が集まってくれたのは、ひだかさんのコミュニティーワークの結果だと思えます。今回、募集して参加者は少なかったけど、サテライト教室ができたことは、まさにコミュニティーワークから生まれた新たなコミュニティーです。今後、行政や自治体の方々に理解していただくためにも、この事例のような動きが大きなポイントになります。



### ③BPSD改善に学習療法を活用し排泄の自立支援へ(和光園)

和光園さんは、月次検討会の結果をケア(排泄支援)につなげて行き、それが活かされている、まさに「学習療法をケアに活かす」という典型的な事例ですので、大阪シンポジウムの発表を楽しみにしています。

### ④研究会活動はソーシャルワーク(大分学習療法研究会)

大分研究会の「コミュニティーワーク」の話に100%賛同します。特に脳の健康教室は、まさにコミュニティーワークそのものです。それができるのは皆さんであり、皆さんの使命だと思えます。

### ⑤きっかけはSIB(四季の郷「輝」デｲｯﾋﾞｾﾝﾀｰ)

四季の郷さんの発表は、自宅学習用の日報を使って学習者の奥様が支援するという先進的な事例ですので、大阪発表までにはご家族の感想や状況を詳しく発表ください。

### ⑥学習療法による「気づき」の展開

いずみの園さんの発表は、「ニーズを聞くことでケアにつなげる」という事例。その過程で学習療法をうまく活かしているところを強調して発表ください。



大分研究会の発表は、大変有意義なものが多くて、シンポジウムのなかでも注目度が高いです。今回のシンポジウムは分科会が50くらい、全大会には厚生労働省の方にコメントいただきます。また、慶應大学の先生方、アメリカの導入施設の方の発表もあります。私個人的には、ネットワークとしては日本一だと思っている大分が、シンポジウムで輝いていただけるよう残りの時間で準備していただきたいと思えます。

素晴らしい発表と皆さんとの巡り合いに感謝いたします。ありがとうございました。

## ◎閉会あいさつ 吹田副会長(和光園 事務長)

(左から石塚 吹田 毛利)



老健大会でセンテナリアンさんと

6月に鹿児島で老健協の九州大会があり、出席してきました。センテナリアンさんも一緒に参加し、本日の内容の事例発表をされていて、参加された方々にすごく好評でした。また、学習療法センター大分担当の森園さんも来られていて、老健協の大会でしたが、大分学習療法研究会のネットワークを強く感じることができました。今日も皆さんと笑顔で会えたことに感謝です。さらにこの後、伊藤副代表のお話で心をホッコリして明日からの業務に頑張ってください。お疲れ様でした！

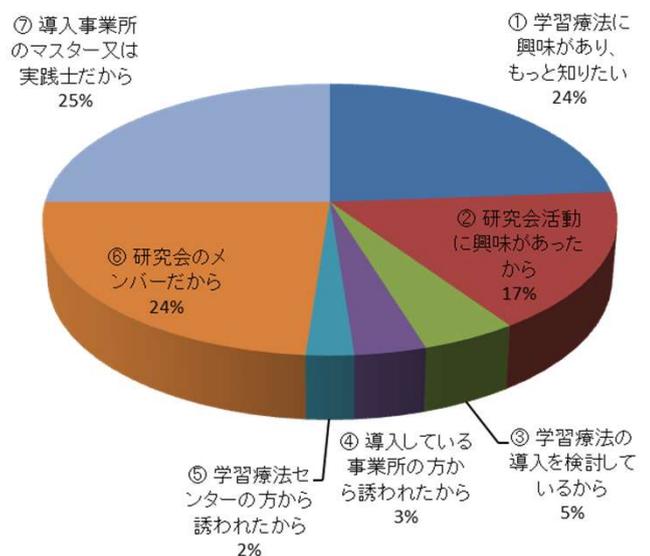
## 3. アンケート集計結果

研修会に参加された皆様へのアンケート集計結果をご報告します。

### Q 1. 研究会に参加した動機は？

- ① 学習療法に興味があり、もっと知りたい
- ② 研究会活動に興味があったから
- ③ 学習療法の導入を検討しているから
- ④ 導入している事業所の方から誘われたから
- ⑤ 学習療法センターの方から誘われたから
- ⑥ 研究会のメンバーだから
- ⑦ 導入事業所のマスター又は実践士だから

### 研究会に参加した動機



◎数字上では現れていないが、導入事業所であっても研究会に参加したのは初めてという人がいた。  
 ◎導入事業所のマスター・実践士及び研究会のメンバーが出席者の半数を占めている。  
 ◎人数は少ないが、これから導入を検討している事業所の方もいました。  
 ◎今回は県外(柳川市)からも研究会の活動に興味をもたれた方々の参加があった。(さくらんぼ4名)

### Q 2. 本日のプログラムで学んだことは？



学習者自身が本当に楽しんで取り組むことの大切さに気付かされました。また、学習者の変化を伝えられる職員の気づき及び伝達能力を活かしていきたい。

和光園 仲島さん

老健・特養・有老・DSなどの集まりはこのような研究会ならではの感じた。今から取り組もうとしている施設もあり、熱気を感じた。

ケアマンションひだか 小山さん

利用者の方々が学習療法を通じて、生きがいの一つ、生活の一部となっていることは素晴らしいです。施設内だけでなく外へ向けた取り組みをどうするか、どのように周知していくのかを学んだ。

聖心園 阿南さん

ただ単にケースワークするだけでなく、介護する側のニーズの把握、ケアする側の気づきの場として活用されているのだと思いました。学習者もスタッフも楽しんで行わなければ続かない。ご自分の発表を笑顔で観てらっしゃった利用者様が印象的でした。

すがのウィメンズクリニック 山本さん

## Q2. 本日のプログラムで学んだことは？



正しく伝える事の大切さと継続する事が事例発表やグループ討議から感じました。月次検討会の内容等、職員の気づきからケアに活かせるような意味のある検討会が実施できるようにしたいと思います。

おおつるの家DS 大蔵さん

学習を通して、どの施設でも利用者が意欲的になり、その姿をみて職員や家族も一緒に取り組む姿勢が向上しているなど思いました。マナー化にならないように、他施設の取組みを取り入れるなどして、みんなで楽しみながらやっていけることが大切だと思った。

センテナリアン 池永さん



利用者の変化に気づいて、自分ごとのように喜べる職員が育ってくると、ケア全体のスキルアップができることに気づいた。

グラントホーム古国府 堀さん

皆さんが真剣に話し合われていることに感動しました。新しい参加者の人を紹介されているのは、とても良いと思いました。大分はオープンですね。ウイメンズクリニックの方が「何とか学習療法が世の中に認められればいいですね」と言われたことにうれしくなりました。

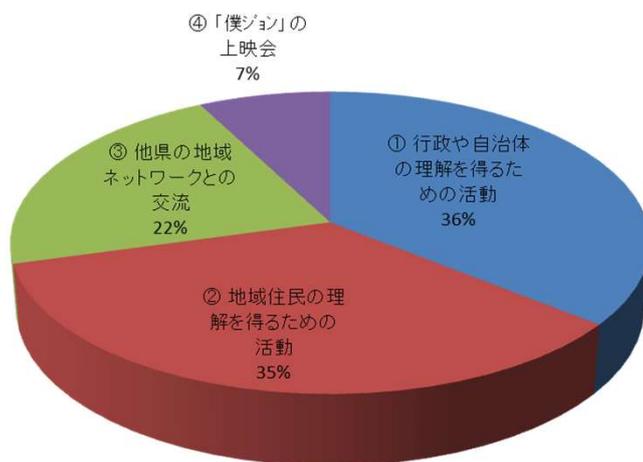
さくらんぼ(柳川市) 平田施設長



## Q3. 今後の研究会の活動にどんなことを期待したいか？

- ①行政や自治体の理解を得るための活動
- ②地域住民の理解を得るための活動
- ③他県の地域ネットワークとの交流
- ④「僕ジョン」の上映会

### 期待する今後の活動



◎行政、自治体や地域住民の理解を得るための活動に期待する人が7割以上いた。これは、学習療法をもっと地域に広めたいとの思いを多くの参加者が抱いている現れと考えられる。  
 ◎柳川市のさくらんぼさんの参加もあり、他県の研究会との交流を期待する声も多かった。  
 ◎少数ではあるが「僕ジョン」をもう一度観たい、または、まだ観ていないので観たいという意見もあった。

## 大分名物懇親会



伊藤副代表の乾杯の音頭で懇親会が賑やかにスタート!



センター松本さんも溶け込んでいます



それぞれのテーブルでは今日の研修の話題で盛り上がってます



## 編集後記

今回の参加者は、1部の見学会に48名、2部の研究会に52名と総勢55名の参加者となりました。昨年度の平均をみても30名前後が通常の人数ですが、50名を超えたのは研究会設立以来はじめてのこととなりました。懇親会も40名を超える参加者で、日田の夜は盛り上がりました。

これは、研究会の会員の中でも盛り上がりを見せている日田地区で実施したことと、昨年度に活動を展開した映画「僕がジョンと呼ばれるまで」を観て導入を検討する施設さんや研究会の様子を見てみよう、県外である柳川市から「さくらんぼ」(有老)の皆さんに参加頂いたことで盛り上がりを見せたと思います。次回もさらに研究会を盛り上げます。



### 《学習療法研究会へのお誘い》

「大分学習療法研究会」は、学習療法を導入・実践されている施設の皆さまが集まり、学びあう交流の場です。

県内の導入事業所で開催していきますので、まだ参加されたことのない施設の皆さま、これから導入をお考え事業所様も是非ご参加ください。

研究会の活動はこちら・・・ <http://furugo.net/oita-lts.html>

### ◆次回の予告◆

★大分学習療法研究会トップセミナー  
永寿園の山崎園長をお迎えして、管理者およびマスターを対象としたトップセミナーを下記日程で開催いたします。  
期日:平成28年10月30日(日)  
時間:10:00~12:00  
場所:ホルトホール大分 410会議室

★公開講座「あきらめないで!認知症!」  
を下記日程で開催いたします。  
期日:平成28年10月30日(日)  
時間:14:00~17:00  
場所:ホルトホール大分 大会議室  
内容:講演会・僕ジョン上映会